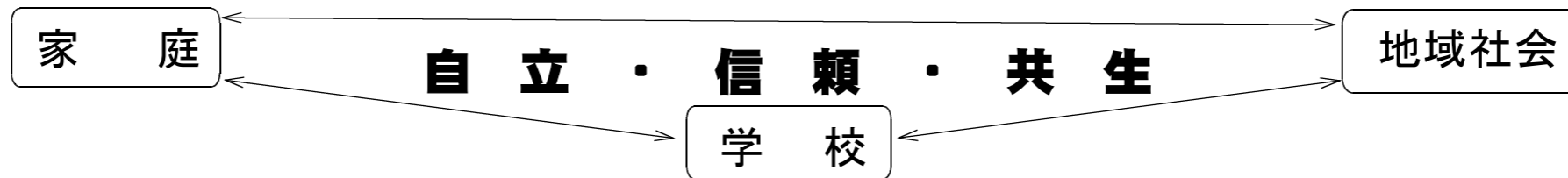


# 2020年度 分田小学校グランドデザイン

- 心の安定を支える家庭
  - ・子どもと向き合い対話
  - ・学校との連携(相談・協力等)
- 学ぶ意欲を支える家庭
  - ・子どもの努力やよさの認めと賞賛
  - ・家庭学習習慣の定着
- 健康な身体を支える家庭
  - ・望ましい習慣(メディアコントロール)

**阿賀野市学校教育の重点:基本理念「自立・信頼・共生が拓く、私たちの未来・ふるさとの未来」**  
 [自立] 主体的に学び、協働的に問題の解決に取り組む姿  
 [信頼] 人と人とのかわりに気づき、支え合う姿 [共生] 互いのよさを認め、高め合う姿  
 小中学校教育の重点:◎「保護者や地域の人々と課題を共有し、地域の特色を生かし、地域とともに歩む学校づくりに取り組む(開かれた学校づくり)」

- 豊かな心を育てる場としての地域
  - ・様々な体験活動等から学ぶ
  - ・授業や行事等への活動支援
- 安全で、安心な地域
  - ・子どもを温かく見守り育む
- 規範意識の実践の場としての地域
  - ・日常的にあいさつを交わし合う
  - ・善い行いを認め、よくない行いを諭す



教育目標

**たくましく かしこく 美しい心**

身に付ける力 = コミュニケーション力 ・ 挑戦するたくましさ

生活習慣・食習慣を改善し、進んで身体を鍛える子ども

自分なりに考え、表現する子ども

互いを認め合い、共によりよく生きようとする子ども

## 《体力向上》

◎2学期(マラソン)、3学期(なわとび)の記録が取組期間中に向上した子どもを80%以上にします。

- ・記録会ごとにトレーニングタイムを設定し、記録の伸びを自分自身が実感したり、友達と努力を認め合ったりできるようにします。

## 《ゲーム、スマホ・タブレット時間》

◎メディアコントロールで、ゲームとスマホ・タブレットの時間を60分以内にコントロールできる子どもを80%以上にします。

- ・学力、元気アップ週間前にメディアコントロールの大切さを話し合います。
- ・学力・元気アップ週間のない月に、メディアコントロール日を設定し、その結果を保護者と結果を共有して生活改善を目指します。

## 《学び合い》

◎重点単元学習の振り返りで「理解した、説明できる」子どもを80%以上にします。

- ・子ども同士の学び合いをもとに、振り返りで自他の考えの深まりを図ります。
- ・NRTテストや前年度Webテストで正答率の低い内容を分析し、確実な習得をします。

## 《学習習慣》

◎家庭学習の習慣を身に付けた子どもを80%以上にします。目標時間:平日 10分間×学年

- ・家庭学習カードから取組方を把握したり、自学ノートの展示や子どもどうしの交流会を行ったりして意欲化を図ります。
- ・家庭学習カード活用状況の情報交換やカード作成の研修で、内容の充実を図ります。

## 《自己有用感・対人関係スキル》

◎「自分と友達のいいところが分かる」子どもを85%以上にします

- ・異学年交流(縦割り班・ペア学年でメッセージ交換等)で励まし合いや認め合う活動を毎学期行って多様な価値観を育てます。
- ・全校一斉の「社会性育成トレーニング(モデリング、リハーサル、振り返り)」を毎学期行います。
- ・「特別な教科 道徳」で振り返り(話す・書く)活動を大切にします。

◎「いじめをしない、許さない、命を大切にする意識の醸成」  
《未然防止、早期発見、早期対応、見守りの継続》

- ・分かる授業づくり、居心地のよい学級づくり
- ・家庭訪問(4月)→学校生活アンケート→教育相談→個別懇談(11月)
- ・全校一斉の道徳学習参観(9月) ・人権教育強調週間(12月)
- ・中学校区いじめ見逃しゼロスクール集会(なかよしサミット 6月)
- ・「SNS、スマホ・携帯安全教室」の開催(上学年 6月、下学年 1月)

## 《将来を見据えた特別支援教育の充実》

- 子どもと保護者の困り感へのていねいな寄り添い
- ユニバーサルデザインのある学習環境
- 一人一人のニーズ、進路相談に応える専門機関との連携
- 特別支援教育について家庭・地域との情報共有

## 《家庭、地域、専門機関等との連携》

- 教科、領域を横断したカリキュラム・マネジメントで、「教室の学びと地域社会の学び」を結ぶ
- 中学校区内の保幼小・小小・小中連携
- ふるさとへの愛着と誇りを育てる「学校を核とした地域づくり」



「マラソン大会」



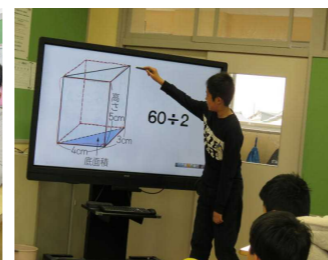
「自力解決」



「学び合い」



「タブレットを使って」



「ICTを使って」



「地域の方と運動会」



「分田神楽」



「社会性育成トレーニング」 「縦割で読み聞かせ」